

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年1月10日

1. 職名・氏名 准教授 岡田隆志

2. 学位 学位 博士、専門分野 社会福祉学、授与機関 ルーテル学院大学、
授与年 2022

3. 教育活動

<p>(1)講義・演習・実験・実習</p> <p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 精神保健ソーシャルワーク実習(4)4年次 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（2）3年次 精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（2）4年次 精神保健ソーシャルワーク演習（2）4年次 精神保健福祉制度論（4）3年次 精神保健福祉の原理（4）2年次 卒業研究指導（4）4年次 現代福祉問題論(2)1年次（オムニバス） 精神保健福祉演習(2) 大学院修士課程 修士論文指導(8) 大学院修士課程</p> <p>②内容・ねらい ・主には国家資格である精神保健福祉士の指定科目を担当した。 ・精神保健福祉士国家資格に必要な実習の主担当を担った。</p> <p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・要配慮学生のうち、通学が困難であった学生等にオンライン・オンデマンドでの講義を実施するなど教育的な配慮・工夫を行った。</p>
<p>(2)その他の教育活動</p> <p>内容 ・4年次学生向け、精神保健福祉士の国家資格試験特別講座を開講した（3回）</p>

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書 1, 共著 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編「精神保健福祉士国家試験模擬問題集」	【1本】
②学術論文（査読あり）	【本】
③その他論文（査読なし）	【本】
④学会発表等 1. 共同発表「法人で取り組む‘さくらセット’を活用した現任教育」第21回日本精神保健福祉士学会学術集会. 共同報告者 有（*小椋 瞳、吉田 隆達）	【1件】
⑤その他の公表実績 1. 共著「資質向上を後押しする さくらセットの活用事例から」精神保健福祉,79-79. 2. 共著「自己教育力に着目した精神保健福祉士の資質向上支援策に関する研究の意義」地域ケアリング,52-55. 3. 共著「市町村及び保健所保健師等の精神保健福祉業務に係る業務量の把握及び地域包括ケアシステムの構築に向けた必要な業務量の算定に資する研究 令和3年度研究報告書」	【3本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】 ・科研費「自己教育力に着目した精神保健福祉士の資質向上支援策の構築と効果検証」分担研究者	
【学内】 ・KF 枠研究費「市町村精神保健福祉相談員の専門的能力に関する基礎的研究」	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
・令和3年度 厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）「市町村及び保健所保健師等の精神保健福祉業務に係る業務量の把握及び地域包括ケアシステムの構築に向けた必要な業務量の算定に資する研究」分担研究者	

5. 地域・社会貢献活動

<ol style="list-style-type: none">1. 福井県障がい者虐待防止・権利擁護部会長（2022.4～現在に至る）2. 福井県引きこもり支援専門チーム派遣事業アドバイザー（2022.4～現在に至る）3. 坂井地区障害児者総合支援協議会精神障害者支援部会アドバイザー（2022.4～現在に至る）4. 坂井市ひきこもり・不登校連絡会議アドバイザー（2020.4～現在に至る）5. 福井県精神保健福祉従事者研修会ワーキンググループ 委員（2020.4～現在に至る）6. 社会福祉法人長久福祉会 グループワーク研修スーパーバイザー（2022.4～現在に至る）7. 福井県精神保健福祉従事者研修会（現任）研修講師(2022.12)8. 福井市地域包括支援センター研修会 講演 研修講師（2022.7）9. 鯖江高校 開放講義(2022.10)10. （公社）日本精神保健福祉士協会主催研修の講義 6本

6. 大学運営への参画

(1)補職
<ul style="list-style-type: none">・ 論集編集委員会 委員・ ハラスメント等人権問題委員会 委員
(2)委員会・チーム活動
(看護福祉学部委員等) <ul style="list-style-type: none">・ 選挙管理委員会 委員・ 大学院研究活性化ワーキング 委員 (社会福祉学科委員等) <ul style="list-style-type: none">・ 国家試験対策講座 委員・ カリキュラム検討委員会 委員
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など